

バレーボール（聴覚障害者の部・知的障害者の部） 競技実施要領

1 競技規則

全国障害者スポーツ大会競技規則令和3年度版（（公財）日本障がい者スポーツ協会制定）に定める以外は、同年度の（公財）日本バレーボール協会競技規則（国際競技規則）及びこの要領に定めるところによるもののほか、参加団体代表者会議確認事項による。

2 競技等

(1) チームの構成

① 聴覚障害者の部

監督1名・コーチ1名・マネージャー（手話通訳者等）1名及び選手12名以内とする。監督・コーチが選手を兼ねる場合は、選手名簿に登録されていなければ選手として出場できない。この場合の選手人数は、選手を兼ねる監督・コーチを含めて12名以内とする。

男女別にチームを構成する。

② 知的障害者の部

監督1名・コーチ2名及び選手12名以内とする。

男女別にチームを構成する。

(2) 競技方法

① 試合はワンボールシステムで行う。

② 試合球 （公財）日本バレーボール協会検定球5号球（人工皮革・カラーボール）

③ 試合はトーナメント方式とし、3位決定戦を行う。ただし出場チームが少ない場合は、リーグ戦形式で行う場合がある。

時間に余裕があればフレンドリーマッチを行うことができる。

④ ルール

試合は3セットマッチとし、2セットを先取したチームを勝ちとする。

1セット25点のラリーポイント制とする。

また、得点が「24対24」の同点となった場合、それ以降は2点リードしたチームがそのセットの勝者とする。

第3セットのコート交代は、13点先取した時に行う。

リーグ戦において同率の勝敗で、失ったセット数でも決まらない場合は、チームの総得点と総失点の差で決定する。それでも決まらない場合は、コイントスで決める。

⑤ 背番号は1番から12番までが望ましい。やむを得ない場合は、1番から99番までとする。

なお、チーム名、キャプテンマーク、背番号等のサイズは、規定のものとする。

リベロを採用する場合は、他の競技者と区別できるユニフォームを着用する。

⑥ 各チームの監督は試合毎にコンポジションシートをプロトコール時に副審へ提出する。

⑦ 監督会議の場において、申し合わせ事項を設けることができる。

3 その他

(1) 開会式・表彰式は、通告とする。

(2) 関東ブロック地区予選会派遣

① 聴覚障害者の部

原則として優勝チームが出場することとする。各チームから選抜する場合は優勝チームの監督を中心に関係者で話し合いの上決定する。

② 知的障害者の部

出場選手を各チームから選抜することとする。選手選考会議で選抜チームの監督を決定し、出場選手は監督を中心に関係者で話し合いの上決定する。

(3) 新型コロナウイルス感染症拡大予防の取り組み

千葉県障がい者スポーツ協会が別に定める「千葉県障害者スポーツ大会 新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドライン」に基づき実施する。